

## 「北辰会報」第 27 号を手にして

2021 年 8 月 1 日 26 期 岡田美乃利

北辰会事務局 様

戸惑うばかりの都会です・・・富山から西宮へ

御免下さい。会報 27 号ありがとうございます。

この厳しいコロナ禍のなかでの会報の発行、並大抵ではなかったのではと思います。大変ご苦労様でした。

ここ西宮に引っ越してから、もう 1 年が過ぎました。75 歳に富山という田舎から都会へ引っ越して、生活環境の様変わりに戸惑ってばかりです。

富山では東西南北は北アルプスが眼前に広がり、河川も日本海に向けて注ぎ込み東西南北は考えなくてもわかりました。しかし、ここ西宮では、私はマンションの 17 階に住んでいますが、この 17 階からは六甲山が一望できますが、下の 1 階からは、林立するマンションで見通しは全くきかず、六甲山の山並みも見えません。東西南北は見当がつきません。3 回程、道に迷いました。「道行く人に『すみません、JR 西宮駅は、どこでしょうか』『今、貴方が歩いてきた逆ですね』と。

又、この年に車を運転して事故でも起こすと大変と思い、富山で車を手放してきました。つまり通行は公共交通機関か歩きです。歩道での歩行でビックリするのは自転車の多いこと。一つの信号で片側 10 台前後は通行します。歩行中、横をシャッターと自転車が通行する毎に「ヒヤッ」とすること度々です。富山では車社会なので 1 信号で自転車に行き交うのは 1～2 台です。ここでは油断するとケガですね。

薄い都会での繋がり・・・多くの同窓生を結ぶ北辰会

それと、富山では 1 町内で 1 つの公民館です。その公民館を使って町内の役員会とか趣味の集まりや例会を取り組んでいます。しかし、私の住んでいる町内では、町内会などの繋がりは一切ありません。勿論、公的な公民館や会館はありますが、戸数の数百軒に 1 個所です。何れにしても環境が違おうとこうも違おうのかなと戸惑いながらの生活です。

そんなとき「会報 27 号」が届き、貪るように読ませていただきました。会長の巻頭のあいさつ、23 期 KIMI ORR さんの心温まる、里帰りと同窓生との再会、兼田さんの織田信長・歴史探訪、会長と前田さんの御礼と感謝の言葉、「北辰会報」を読むと、何時も胸が熱くなります。気持ちがいつかしら、北野に戻っているのです。元気を与え、オアシスとしての会報、スゴイです。心が洗われます。ありがとうございます。

しかしよくやっていただけると、私は感謝の言葉しかありません。それと、去年は富山からの引っ越し等でバタバタして賛助金運動が取り組まれていることも知りませんでした。申し訳ありません。今からでも振り込みはできますか？ もし可能であれば振込用紙送っていただけたら、お願いします。

みなさん、何時までも胸を熱くし、心を燃えさせ手を取り合っていきましょう。

